

今年の例年通りにはならなかった大学入試での経験を通して、やっておけばよかったと思うこと、やってよかったと思う事を皆さんに伝えたいと思います。

私たちの学年は、センター試験から共通テストに変わるという年であったり、この1年は新型コロナウイルスの影響で学校に行く機会も少ない中での、これまでとは違った受験勉強でした。しかし、もし私の高校3年間で一度だけ自分に助言ができるのなら、この1年の自分ではなく、高校1年生の夏休みの自分に「勉強をやめるな」と助言をしたいと思います。それは、私が勉強をする上で、「早い時期から勉強をする習慣をつけること」や「予定を立てる、記録をつけること」が大事だと感じたからです。

私は1年生の最初、目標を高く持ち、勉強を頑張るという気持ちも大きく、小テストや定期テストにおいて毎日しっかりと勉強をしていました。しかし、夏休みに入り、自分自身を甘やかしたこともあり、「勉強をしない」という習慣をつけてしまいました。この沼から抜け出すのはすごく難しく、この沼は本当に秒で学力を奪います。3年生はもちろんのこと、1、2年生の皆さんも夏休みに毎日1時間や2時間でも「勉強をする」という習慣を身につけてください。これだけで、受験勉強を始める際に抵抗が小さくなります。そして、予定を立てて勉強し、その日の勉強内容を記録することで、次の日のモチベーションを上げることができます。私は1ヶ月で物理と化学を追い込もうと予定を立てて勉強をしました。追い込みの結果、物理はそこそこの出来でしたが、化学は上出来でした。効率を良くするためにも、是非手帳やアプリなどを有効活用して楽しく勉強に取り組んでもらえたらと思います。

また、受験期において1番しんどかったのは前期試験が終わってから中期、後期試験に向けて勉強をしている時でした。前期試験だけで受験が終わってしまう人も多く、最後の最後まで粘り続ける事は辛く、早くやめてしまいたくて、中期試験の試験の合間に前期の結果を見てしまったぐらいです。(真似しない方がいい)

そこで感じた事は、一緒に頑張ってくれる仲間がいる事、毎日学校に来て私たちと一緒に闘い、支えてくださった先生方、無条件の愛をくれる親がいることの心強さでした。さらに、すぐ近くには神殿があります。辛い時、頑張りたい時、どんな時でも神殿に足を運んでください。絶対に神様がいいようにしてください。

大学入試において、諦めずに最後まで頑張る事は、きっと今だけでなく、この先の人生での宝になると信じて、私自身も勉強を続けたいと思います。

この話が少しでも皆さんのお役に立てることができれば幸いです。